



総研大ニューズレター

第 32 号 2011.1 発行

●目次

【今月のトピックス】	「海外総研大レクチャー開催」 「みんなくウィークエンド・サロンー研究者と話そう」 『西ジャワの作曲家～ナノ・S.』 「文化科学研究科 学術交流フォーラム開催」 「国際会議『International Conference on Physics in Intense Fields』開催	総務課 国立民族学博物館 文化科学研究科 高エネルギー加速器研究機構
------------	--	---

【各種募集】

【イベント情報】

主なイベント予定

1月14日	サイエンスカフェ「二つ目の地球」
1月20～21日	学融合推進センター 研究プロジェクト公開研究報告会
2月15～17日	アジア冬の学校 2010 (JAXA 相模原キャンパス)
2月19～22日	アジア冬の学校 2010 (岡崎コンファレンスセンター)
3月18日	統計科学専攻・学生研究発表会
3月23～24日	学術交流会
3月24日	学位記授与式
3月24日	長倉研究奨励賞・総合研究大学院大学 研究賞 発表会・授与式

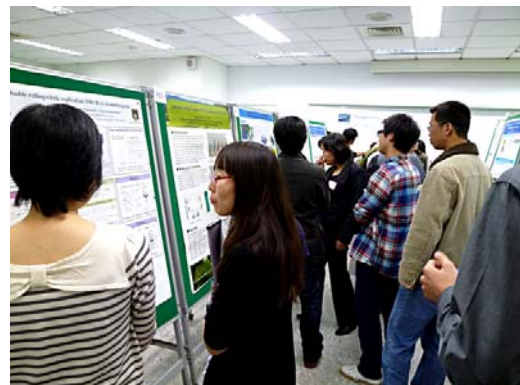
【今月のトピックス】

● 海外総研大レクチャーを開催

先端科学研究科の海外総研大レクチャー「進化からみた生物学の諸階層の新しい統合」は国立台湾大学生命科学院、動物科学研究所、生物資源・農学院と合同で11月26日～29日の間、国立台湾大学にて総研大から教職員12名、学生16名、台湾大学から教職員20名、学生28名が参加して開催されました。

4日間の日程で、初日は午後から台湾大学の中にある校史館を見学しました。台湾大学の建学からの様々な資料を展示しており、日本との深い関わりを感じさせるものでした。台湾独自の民俗、文化を紹介する人類学博物館もあり、台湾を代表する大学の史料館として非常に見応えがありました。

翌27日は朝8:30からのハードスケジュールで、開催挨拶に続いて総研大、台湾大学の講師10人による口頭発表が行われ、終了後、会場を移してポスターセッションとなりました。ポスターセッションはそれぞれの学生のポスター発表に対して興味のある学生、教員が直接質問を投げかけており、会場ではあちこちで活発な意見交換が行われていました。



28日は台湾大学の溪頭にある演習林を見学する予定になっており、チャーターバスで4時間かけて移動しました。溪頭は標高が高いため、台北市内に比べて気温が低く過ごしやすい陽気でした。溪頭演習林は日本の大学の演習林と異なり、広大な敷地はきれいに整備されて、広く一般に開放されており、週末ということもあって多くの人々がピクニックに散策に家族連れで訪れていました。夏は避暑も兼ねて大勢の人で混雑するとのことでした。日本語と英語のガイドの下、2班に分かれて演習林を見学しました。竹や杉が見事に植林されており、また、遊歩道もきちんと整備されていて快適なハイキングコースでした。亜熱帯の台湾独特の樹木等もあり、ガイドの話を楽しみながら興味深く散策しました。ただ、季節が寒い時期に入っており、は虫類なども生物があまり見かけられなかったのが残念でした。



最終日 29日は朝 5:30 から希望者で台湾大学 宇先生の引率の下バードウォッチングに出かけました。前日とは違うコースで、人の手があまり入っていない台湾の野生林が散策でき、目的の鳥はあまり見かけられませんでした。得難い経験になりました。

午後からはまたチャーターバスで移動し、松山空港でお世話になった台湾大学の方々との再会を期してお別れしました。

本レクチャーに関しては、学生からのレポートでも研究科の授業との関係で十分な事前準備ができなかった、移動時間が多かったなどの意見があり、時期や内容についても今後検討すべき事項もありますが、日本と違う文化の中で英語を通じてコミュニケーションを行うことは意義のあることではないかと感じました。レクチャー後、総研大の学生と台湾大学の教員や学生との間で、研究に関する情報交換や資料の交換などの交流が始まったケースがあったことは収穫だったと思われま。

また、ホストの台湾大学の方々には本レクチャーのためにいろいろと準備し、朝早くから夜遅くまで食事や観光やさまざまな面でサポートしていただいたことを紙面を借りて心からお礼申し上げます。今後このレクチャーが何らかの形で参加された方の研究の一助となることを期待しております。



【文責 総務課】

● みんなくウィークエンド・サロンー研究者と話そう「西ジャワの作曲家～ナノ・S.」

「みんなくウィークエンド・サロン」とは、国立民族学博物館の研究者が展示場に登場し、研究者が取り組んでいる研究、調査している地域（国）の最新情報、みんなくの展示資料について講演するイベントで 2007 年から行われています。話題や内容は千差万別で、講演の後には先生と参加者の間で質疑応答が行われるなど、まさにサロンと言うべきアットホームな雰囲気を持っています。

12月5日（日）に開催されたウィークエンド・サロンでは、福岡正太准教授が新しく生まれ変わった音楽展示に関連して「西ジャワの作曲家～ナノ・S.」というテーマで講演をされました。



ナノ・S.は伝統音楽のみならずポピュラー音楽の世界でも活躍したスンダ人音楽家(作曲家)で、彼の生涯を通して見た西ジャワ音楽の変遷の過程が紹介されました。その日のウィークエンド・サロンは音楽展示場に隣接するナビ広場で開催され、話の要所では映像や音楽が流されるなど音楽展示関連らしいウィークエンド・サロンとなりました。

また質疑応答では、音楽に関する質問だけではなくスンダ人の人口や使用文字などもあり、参加者の中でスンダ人への関心も高まったようでした。

【文責 国立民族学博物館】

● 文化科学研究科 学術交流フォーラムを開催

本学文化科学研究科の本年度学術交流フォーラムは平成 22 年 11 月 6 日と 7 日に開催され、すべて予定通りに終了いたしました。ご参加くださいました多数の先生方、関わってご尽力賜りました事務の方、誠心誠意研究成果達成に向けて努力された院生・修了生各位に対し、心から敬意を表し、御礼を申し上げます。

本年度学術交流フォーラムは、東京駅から徒歩 6 分の TKP 八重洲ビジネスセンターを会場にして 1 日半のプログラムで開催いたしました。

初日は院生達による研究口頭発表と懇親会、二日目は教員による“共生”をテーマにした基調講演とシンポジウム、教員と院生達によるポスター発表、そして、閉会式でした。

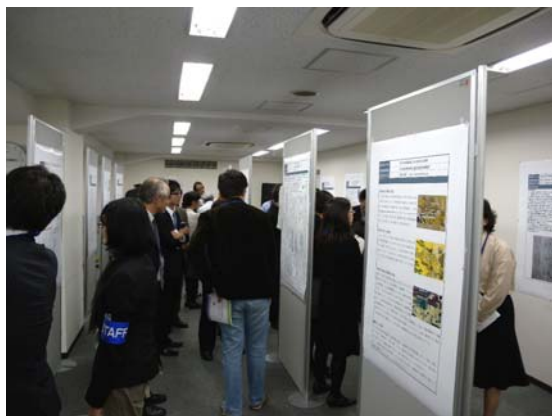
学生企画委員は現在、成果物のとりまとめを進めております。



院生による口頭発表



シンポジウム（パネルディスカッション）



ポスター発表の様子



平田学長補佐による講評

学術の昔について思いを致す人は少ないかもしれませんが、当然のことながらその昔は文理の別もなく、ただひたすら人間の真実に向けて、地球上の全存在を語り、人間の心の内を論じました。これは中国では紀元前のことで、今日のわれわれも論語や中国古代の文物に直接的な感動を覚えています。ところが、地域により、時代により、学術の細分化・専門化が必要とされ、どんどん進化して今日があります。

昔を回想することの少ない理系に対して、文系は、学問としては常に人間存在の根源から現在までを視野に入れているものであり、その意味において多様な連携が可能な現況にあります。

本学術交流フォーラムは、ほんの小さな取り組みでしかありませんが、確かに総合研究大学院大学ならではの達成であり、日本の学術の将来について若干語るところがあるように思われてなりません。

今後に向けて更なるご尽力をお願いして、今回のご報告と致します。

【文責 日本文学研究専攻長 中村康夫】

● 国際会議「International Conference on Physics in Intense Fields」を開催

11月24日から26日の3日間、KEKの小林ホールにて国際会議「International Conference on Physics in Intense Fields（強磁場の物理に関する国際会議）」が開催されました。KEKの加速器研究施設と理論センターが中心となり、関西原子力研究所、総合研究大学院大学、東京大学、広島大学、独ルートヴィヒ・マクシミリアン大学ミュンヘン（LMU）が共同で開催したこの会議は、レーザー物理学と素粒子原子核物理学の融合を目指し、超高強度レーザーで実現される強い電磁場のもとでの物質、さらには真空そのものの振る舞いについての研究推進を目的に開催されたもの。100名を超す参加者があり、37の講演と14件のポスター発表が行われました。海外からも米国、英国、イスラエル、オーストリア、オーストラリア、中国、ドイツ、フランス、ロシアから多数の研究者が参加し、レーザープラズマ物理、素粒子原子核物理、宇宙物理、物性物理など多岐にわたる研究分野からのこの分野への大きな期待が示されました。



会議の初日は高崎史彦 KEK 理事の挨拶に続き、Gérard Mourou 氏による「レーザーをつかった高エネルギー物理」に関する総合講演がありました。レーザーの強度は1990年代に飛躍的に増

大しましたが、これは Mourou 氏が開発した「チャープパルス増幅法 (Chirped Pulse Amplification: CPA)」によるものです。同日はさらに、ドイツ電子シンクロトロン研究所(DESY)の Axel Linder 氏による「レーザーによるアキシオン探索」や、KEK の横谷馨氏による「ビーム相互作用における強い場の効果について」の講演も行われました。2 日目には、米コネチカット大学の Gerald V. Dunne 氏による「高強度場の物理現象」に関するチュートリアル講演が行われ、最終日に LMU の田島俊樹氏がレーザー物理と素粒子原子核物理の融合を目指した将来像を提示して、会議を締めくくりました。

この会議ではレーザーでの高強度場現象だけでなく、それに類似した現象を、素粒子原子核物理学や物性物理学、宇宙物理学の視点からも探求。重イオン衝突における高強度場現象、「マグネター」とよばれる高強度磁場をもつ星の物理、さらには通常物質での絶縁破壊などの多種多様なテーマが取り上げられました。これらは一見異質のテーマですが、電磁場が強い場合におこる現象の記述に際して見られる普遍的な性質を扱っているもので、各テーマで活発な議論が交わされました。Mourou 氏は「この会議は将来、高強度場の物理の重要な転換点とみなされることになるでしょう」と語り、多くの参加者もこれに同意していました。この会議は、異なる分野の研究者が、お互いに刺激し合いながら新しい研究分野の構築する基盤となるものです。

発表資料等、詳しくは会議ホームページをご覧ください。

<http://atfweb.kek.jp/pif2010/>

【高エネルギー加速器研究機構 HP より転載】

【各種募集】 現在公募中の情報

事 項	応募期間	提出先
国立天文台滞在型研究員	随時(滞在希望初日の前月1日まで)	国立天文台研究支援係
学融合推進センター 研究論文助成	随時	総合研究大学院大学 総務課葉山事務室
http://center.soken.ac.jp/act/thesis.html		

【イベント情報】

● 総研大の行事

1月

日程	時間	行事名	場所
7日(金) -8日(土)	14:00-	生命共生体進化学専攻オープンキャンパス	葉山キャンパス
14日(金)	18:00-20:00	サイエンスカフェ「二つ目の地球」	葉山町:レストランタ凧亭
20日(木) -21日(金)		学融合推進センター 研究プロジェクト公開研究報告会	湘南国際村センターB1F 国際会議場 ホワイエ
http://center.soken.ac.jp/act/s61umn000002wdf.html			

2月

日程	時間	行事名	場所
15日(火) -17日(木)		アジア冬の学校 2010	JAXA 相模原キャンパス
http://www.isas.jaxa.jp/sokendai/winter_school/index.html			
19日(土) -22日(火)		アジア冬の学校 2010	岡崎コンファレンスセンター
http://www.ims.ac.jp/aws10/index.html			

3月

日程	時間	行事名	場所
18日(金)		統計科学専攻・学生研究発表会 北川教授(所長)最終講義	統計数理研究所
23日(水) -24日(木)		学術交流会	湘南国際村センター
24日(木)		学位記授与式	葉山キャンパス
24日(木)		長倉研究奨励賞・総合研究大学院大学 研究賞 発表会・授与式	葉山キャンパス

● 基盤機関の行事

2011年1月

日程	時間	行事名	場所
10月23日(土) -3月31日(木)		貴重書展示 「渋川春海と『天地明察』- II」	国立天文台図書室
http://library.nao.ac.jp/kichou/open/043/index.html			
11月30日(火) -1月30日(日)		くらしの植物苑特別企画 冬の華・サザンカ	国立歴史民俗博物館 くらしの植物園
http://www.rekihaku.ac.jp/events/schedule/index.html#c			
12月16日(木) -2月1日(火)		年末年始展示イベント うさぎ	国立民族学博物館 本館展示場内
http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/eto/2011usagi.html			
12月21日(火) -1月30日(日)		双六の小宇宙	国立歴史民俗博物館
http://www.rekihaku.ac.jp/others/press/p101221.html#a			
8日(土)	14:00-16:00	第325回歴博講演会 「しぐさの民俗」	国立歴史民俗博物館
http://www.rekihaku.ac.jp/events/lecture/index.html			
8日(土)	12:00-15:30	MMP「点字教室」	国立民族学博物館 本館1階エントランスホール(無料ゾーン)
http://www.minpaku.ac.jp/museum/partners/event.html#tenji			
1月8日(土) -3月31日(木)		春のみんぱくフォーラム 2011 —ことばの世界へ	国立民族学博物館
http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/kotoba11spring/			
9日(日)	14:30-15:30	みんぱくウィークエンド・サロン 研究者と話そう 第188回「ハノイのえべっさん」	国立民族学博物館 東南アジア展示場横休憩所
http://www.minpaku.ac.jp/30th/salon.html			
1月9日(日) -3月27日(日)	13:00-14:30	「春のみんぱくフォーラム 2011—ことばの世界へ」関連 ことばで世界一周	国立民族学博物館
http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/kotoba11spring/sekai.html			
10日(月・祝)	第1回: 11:00-11:30 第2回: 14:00-14:30	「年末年始展示イベント うさぎ」関連 みんぱく職員によるギャラリートーク	国立民族学博物館 本館展示場内
http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/eto/2011usagi.html			

10日(月・祝)	10:30-16:30 (受付:16:00まで)	「年末年始展示イベント うさぎ」関連 ワークショップ「うさぎを追って世界一周！」	国立民族学博物館 本館1階エントランスホール、本館展示場内
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/eto/2011usagi.html		
10日(月・祝)	10:30 から 7 回 実施、各回 30 分(最終は 14:40~)	「年末年始展示イベント うさぎ」関連 MMP 企画「おりがみで遊ぼう! ~干支シリーズ~ 『卯』」	国立民族学博物館 本館1階エントランスホール
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/eto/2011usagi.html		
13日(木) -14日(金)	10:00-16:00	公開講座「正定値カーネルによる統計的データ解析- カーネル法の基礎と展開」	統計数理研究所 セミナー室1(D-305)
	http://www.ism.ac.jp/lectures/22k.html		
15日(土)	13:30-15:00 (開場:13:00)	新言語展示関連 第392回みんなぱくゼミナール「みんなぱくエスノログ」	国立民族学博物館 講堂
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/seminar10.html		
16日(日)	14:30-15:30	みんなぱくウィークエンド・サロン 研究者と話そう 第189回「イタリアの家族の現在」	国立民族学博物館 本館展示場内ナビ広場
	http://www.minpaku.ac.jp/30th/salon.html		
19日(水)	18:30-19:45	平成22年度 国立情報学研究所 市民講座 第7回「マルチメディアと検索技術 —キーボードを使わずに検索するには?—」	学術総合センター 2階中会議場
	http://www.nii.ac.jp/shimin/		
22日(土)	13:00-17:00	第77回歴博フォーラム「新春うさぎばなし」	ヤクルトホール 主催:国立歴史民俗博物館
	http://www.rekihaku.ac.jp/events/forum/index.html		
22日(土)	13:30-15:30	第142回体験講座「桜草を植え替えよう」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
	http://www.rekihaku.ac.jp/events/schedule/index.html#c		
22日(土)	13:30-16:20 (開場:13:00) 予定	「春のみんなぱくフォーラム2011—ことばの世界へ」関連みんなぱく映画会 映像に描かれるく包摂と自律>第8回上映会「タレントタイム」	国立民族学博物館 講堂
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/kotoba11spring/event.html#move		
23日(日)	14:30-15:30	みんなぱくウィークエンド・サロン 研究者と話そう 第190回「森と人のかかわり—日本からアマゾンへ—」	国立民族学博物館 本館展示場入口
	http://www.minpaku.ac.jp/30th/salon.html		
24日(月)	10:00-16:00	公開講座「Rを使ったハイパフォーマンスコンピューティング入門」	統計数理研究所 セミナー室1(D-305)
	http://www.ism.ac.jp/lectures/22m.html		
30日(日)	14:30-15:30	みんなぱくウィークエンド・サロン 研究者と話そう 第191回「バルカン半島の諸言語と慣習」	国立民族学博物館 本館展示場内ナビ広場
	http://www.minpaku.ac.jp/30th/salon.html		

2月

日程	時間	行事名	場所
1日(火) -4日(金)	10:00-16:00	公開講座「統計学概論」	統計数理研究所 大会議室(B-201)
		http://www.ism.ac.jp/lectures/22n.html	
1日(火) -28日(月)		「春のみんなくフォーラム 2011—ことばの世界へ」関連 展示場クイズ「みんなQ ことば編」	国立民族学博物館 本館言語展示場
		http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/kotoba11spring/event.html#quiz	
5日(土)	14:30-16:30	歴博映画の会	国立歴史民俗博物館
		http://www.rekihaku.ac.jp/events/movie/index.html	
6日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン 研究者と話そう 第192回講演	国立民族学博物館
8日(火)	10:00-16:00	公開講座「マルコフ連鎖モンテカルロ法の基礎と実践(2011年版)」	統計数理研究所 大会議室(B-201)
		http://www.ism.ac.jp/lectures/22p.html	
2月8日(火) -4月3日(日)		和宮ゆかりの雛かざり	国立歴史民俗博物館
		http://www.rekihaku.ac.jp/others/press/p110208.html	
12日(土)	14:00-16:00	第326回歴博講演会「戦後民衆史を歩く」	国立歴史民俗博物館
12日(土)	11:00-12:00	歴博探検「れきはくのコンピュータをさがそう」	国立歴史民俗博物館
		http://www.rekihaku.ac.jp/kids/explore.html	
13日(日)	14:30-15:30 (予定)	「春のみんなくフォーラム 2011—ことばの世界へ」関連 みんなくウィークエンド・サロン 研究者と話そう 第193回「居庸関碑文の魅力」	国立民族学博物館 本館言語展示場
		http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/kotoba11spring/event.html#week	
16日(水)	18:30-19:45	平成22年度 国立情報学研究所 市民講座 第8回「脳でモノを見る—脳の中に創られる世界とは?—」	学術総合センター 2階中会議場
		http://www.nii.ac.jp/shimin/	
19日(土)	13:30-15:00 (開場:13:00)	新言語展示関連 第393回みんなくゼミナール「日本の文字・世界の文字」	国立民族学博物館 講堂
		http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/seminar10.html	
19日(土)		「春のみんなくフォーラム 2011—ことばの世界へ」関連 機構シンポジウム「ことばの種類と多様性」	東京都千代田区有楽町 マリオン 11階 有楽町朝日ホール
		http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/kotoba11spring/event.html#kikou	
20日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン 研究者と話そう 第194回講演	国立民族学博物館
20日(日)	10:00-19:00	博学連携ワークショップ 学校と博物館が学びあえる場の構築をめざして	国立民族学博物館 本館2階第5セミナー室、 本館展示場
		http://www.minpaku.ac.jp/research/pr/110220.html	
26日(土)	13:30-15:30	第143回くらしの植物苑観察会 「漆(うるし)の魔力」	国立歴史民俗博物館
		http://www.rekihaku.ac.jp/events/schedule/index.html	
27日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン 研究者と話そう 第195回講演	国立民族学博物館

3月

日程	時間	行事名	場所
3月1日(火) -5月5日(木)		企画展示 侯爵家のアルバム -孝充から幸一にいたる木戸家写真資料-	国立歴史民俗博物館
6日(日)	15:00-16:30 (開場:14:30)	「春のみんなくフォーラム 2011—ことばの世界へ」関連 特別講演五味太郎「ごみたろう ことばをかたる」	国立民族学博物館 講堂
http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/kotoba11spring/event.html#gomi			
6日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン 研究者と話そう 第196回講演	国立民族学博物館
3月10日(木) -6月14日(火)		特別展 ウメサオタダオ展(仮称)	国立民族学博物館
12日(土)	14:00-16:00	第327回歴博講演会 「爆発した前方後円墳信仰」	国立歴史民俗博物館
18日(金)	18:30-20:30 (開場:17:30)	みんなく公開講演会「自然と向きあう人びとのいま——太平洋とアフリカに見る」	大阪市北区梅田 3-4-5 毎日新聞社ビル B1
19日(土)	13:30-15:00 (開場:13:00)	新言語展示関連 第394回みんなくゼミナール「日本の文字・世界の文字」	国立民族学博物館 講堂
http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/seminar10.html			
20日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン 研究者と話そう 第197回講演	国立民族学博物館
23日(水)	18:30-19:45	平成22年度 国立情報学研究所 市民講座 特別回「新しい情報社会の扉を開く量子技術—量子コンピュータは本当に実現できるのか?—」	学術総合センター 2階中会議場
http://www.nii.ac.jp/shimin/			
26日(土)	13:30-15:30	第144回くらしの植物苑観察会 「春を告げる華花」	国立歴史民俗博物館
27日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン 研究者と話そう 第198回講演	国立民族学博物館

【編集後記】

新年あけましておめでとうございます。
本年も総研大ニューズレターをよろしくお願いいたします。

総研大ニューズレター第 32 号をお届けします。

2011 年、新しい年が始まりました。今年は例年になく寒さの厳しい年明けでした。各地で豪雪の被害もあり、被災された方や渋滞などに巻き込まれた方には心よりお悔やみ申し上げます。

リーマン・ショック以来、国内では閉塞感が漂い、少子化や就職難など大学を取り巻く現状には厳しいものがあります。しかしながら年末の予算内示は、予算編成の厳しい状況の中、独法化後に続いてきたマイナスに歯止めがかかり、科学研究費補助金の増額、授業料免除枠の拡大など、高等教育の将来に希望を持たせるものでした。

新しい年がこれらの高等教育への期待に応えるものであって欲しいと心から願っております。

◎各専攻で教員や学生がメディアに出演が決まっている場合や、発表や表彰等があった際にはご連絡ください。またメディア等に出演される場合は、可能な限り「総合研究大学院大学」と表記していただけますようご協力お願いします。

発行 2011 年 1 月 12 日

編集



国立大学法人
総合研究大学院大学
THE GRADUATE UNIVERSITY FOR ADVANCED STUDIES

広報委員会

神奈川県三浦郡葉山町（湘南国際村）

総務課広報係（担当）

TEL 046-858-1590/FAX 046-858-1542

E-mail: kouhou@ml.soken.ac.jp

©2011 SOKENDAI